

もくじ

- ・ ジャックと^{まめ}豆^きの木

ジャックと^{まめ}豆^きの木

げんさく 原作：
せかい 世界^{むかし}の昔話^{なし}

イラスト： いなとめ まきこ

へんしゅう 編集：
YellowBirdProject

3

ここはイギリスの、とあるいなかの村^{むら}です。
ここに、ジャックという少年^{しょうねん}が、母親^{ははおや}と二人^{ふたり}で暮^くらしていました。

ジャックの家^{いえ}には、牛^{うし}が一頭^{いっとう}いました。ジャックは毎日^{まいにち}、牛^{うし}からしぼったミルク^まを町^{まち}でお金^{かね}に換^かえて、食^たべるもの^かを買^かっていました。

しかしある日^ひ、急^{きゅう}に牛^{うし}がミルク^だを出さなくなっ
てしまいました。母親^{ははおや}は、牛^{うし}を手放^{てばな}すことにしました。

「ジャック、町^{まち}へ行って、牛^{うし}を売^うってきておくれ」
「うん、わかった。ぼくに^{まが}任^{まか}せてよ！」

ジャックは、牛^{うし}を引^ひいて町^{まち}へ向^むかいました。



ジャックが歩いてると、一人のおじいさんに声をかけられました。

「おい、ぼうや。いい牛を連れてきているね。
どこへいくんだい？」

「牛を売りに、町の市場に行くんだ」

「なるほどな。ぼうや、君の連れてきている『牛』と、
この『豆』を取り替えないか？」

おじいさんはかばんから、三つぶの豆を取り出し、
ジャックの前に差し出しました。

「これはただの豆ではない。この豆は『魔法の豆』
だ。幸せを運ぶ豆だぞ」

ジャックは、なぜかこの豆がほしくて、がまんが
できなくなっていました。ジャックは、牛と豆を
交換しました。

